

對蘇交涉打
切りか

〔巴里廿一日アーバス〕消息通の間では結局日蘇開戦は起り得まいが、張孤峯事件はソ聯の對支援助を駆逐化する結果となるる勢である。即ち消息通の意見では、ソ聯側は支那事變直前に起つたチナンモ事件の再演によつて日本側の現勢を打診せんとするものでチナンモ事件に際してはソ聯の挑戦に對し日本側は頗る強硬に出でてソ聯を屈服せしめ、次いでソ聯の干涉は起らされたソ聯の干涉は起らせず、ソ聯は決定的に日支紛争から表面手を引いたが、今やソ聯は日本側を屈服せしめ併せて支那事變を控へた日本の力をあわよくばためさんとしめるのである。

とし、ソ聯は今度こそはチナンモ事件の反覆を擧げんと躍起となり、去る七月十一日、鮮満國境に跨る張孤峯の丘兵撤退を要求したが、ソ聯側の拒否態度で交渉は目下暗礁に乗り上げてゐる、かゝる現情勢に對し佛國側消息通は次如き斷案を下してゐる。

日本艦隊は頗る強硬な態度を探つてゐるが、政府側

日蘇共退
但し戦果一
人絹輸
リーン

かれぬ立争は起るゝして當るか歐

場
ま
洲側觀測

満洲國に赤産みの親

日本國赤十字社の設立を見たわけである。民政部大臣談、今回国満洲國赤十字社が設立を見ましたのは全く日本赤十字社の御厚誼によるものでありまして感謝の意を表すことはございませんが既に強固な基礎と活動力を有する醫院本部があることありますから十分の活動を期し度いと思ひます。徳川副社長談、豫ねからら寧んでゐました満洲赤十字社が今夏産業を掲げて親のよくな喜びを感じます。私は國政府を矢張り認めて來てますので國際的事業であるこの仕事にも余り心配ないと思ひます。

This image shows a vertical column of Japanese text on the left side of a map. The map on the right depicts the Kanda River (神田川) flowing through the city. Key locations labeled include the Kanda River (神田川), Kanda Station (神田駅), and the Kanda Bridge (神田橋). A diagonal banner across the map reads "ハリマツ織物店" (Harimatsu Textile Shop). The vertical text on the left includes:

英國及アイルランド製麻服地豊富
一米十二升より
服反物類一切卸小賣 (聖市及リオ)
エレ・モンテイロ商會

唯一にて皆様の人
が居りまして邦人
居ります

有難く深謝致しま
す

お待ちして居ります

階

後二時より開場
致ます

エレ・モンテイロ商會

多産の苦惱

合理的な産児調節の方法はないかと

血のにじむ悲痛の訴へ



最も理想的な方法は皆悪い

從來の方法は皆悪い

洗滌法

中絶法

ベツサリーリー

安全週期

コンドーム

怪けな薬品

怪けな危険

効果は殆ど無い

(一) 梅干や薬品類

(二) 洗滌法

(三) 中絶法

(四) コンドーム

(五) 安全週期

(六) ベツサリーリー

その他の方法

その他の

